

帰納法推論

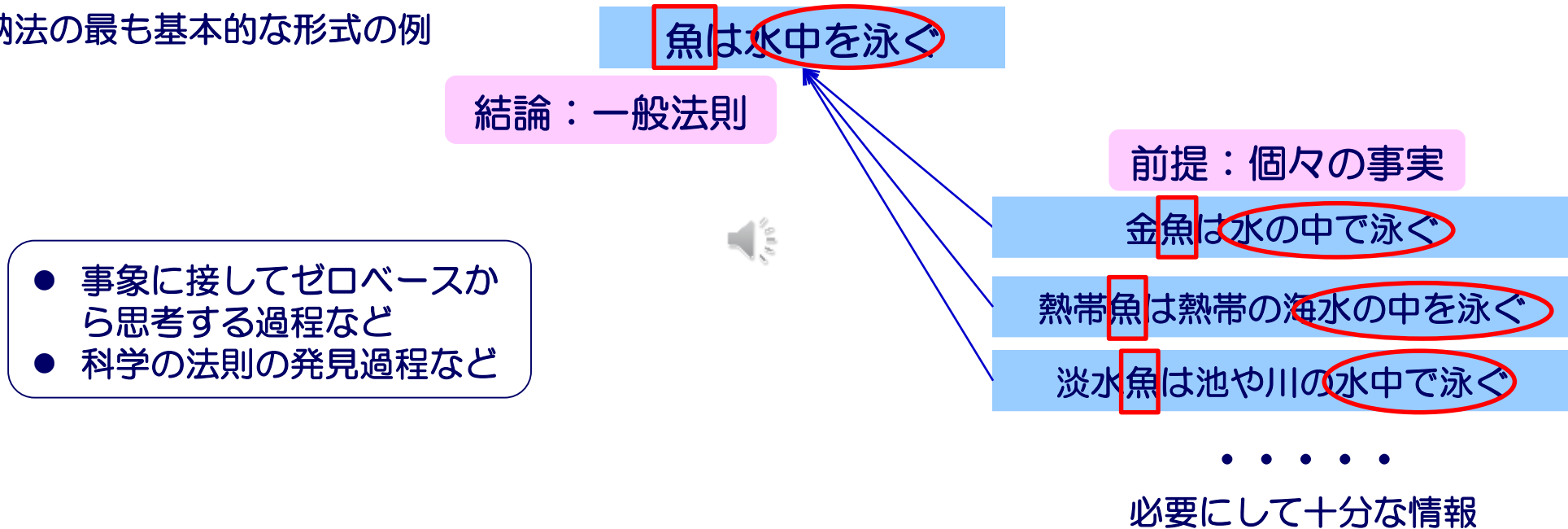
- 帰納論理 (Induction) とは
- 例外の扱い
- 隠れた前提の扱い
- And結合という論理
- その他の推論：類比推論、アブダクション

帰納法推論について、より深く学習するには、論理思考講座、「第1章 ロジカルシンキングの基本を学ぼう
1.2.2 帰納法推論とは (<http://www.ltkensyu.com/logicalthinking/1-1.html#link122>) 」をご参照ください。

帰納論理 (Induction) とは

帰納法推論とは、(複数の) 個別または特殊事象に基づいて、共通する一般的・普遍的メッセージや法則 (あるいは別の個別または特殊事象) を導出する推論方法 である

帰納法の最も基本的な形式の例

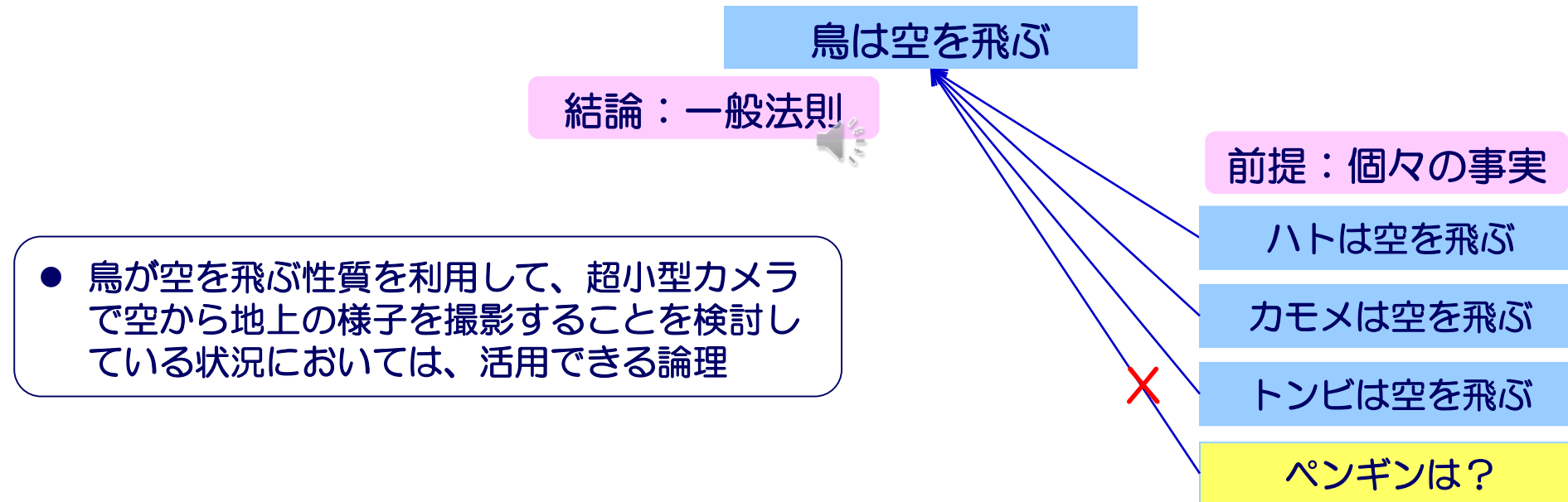


- 上位メッセージは複数の下位メッセージによって支えられている

帰納法推論：例外の扱い

帰納法推論の結論を否定するような「例外の存在」を問題とする必要がない状況においては、例外の存在を認識した上で、帰納法推論により導いた結論をそのまま使用しても構わない

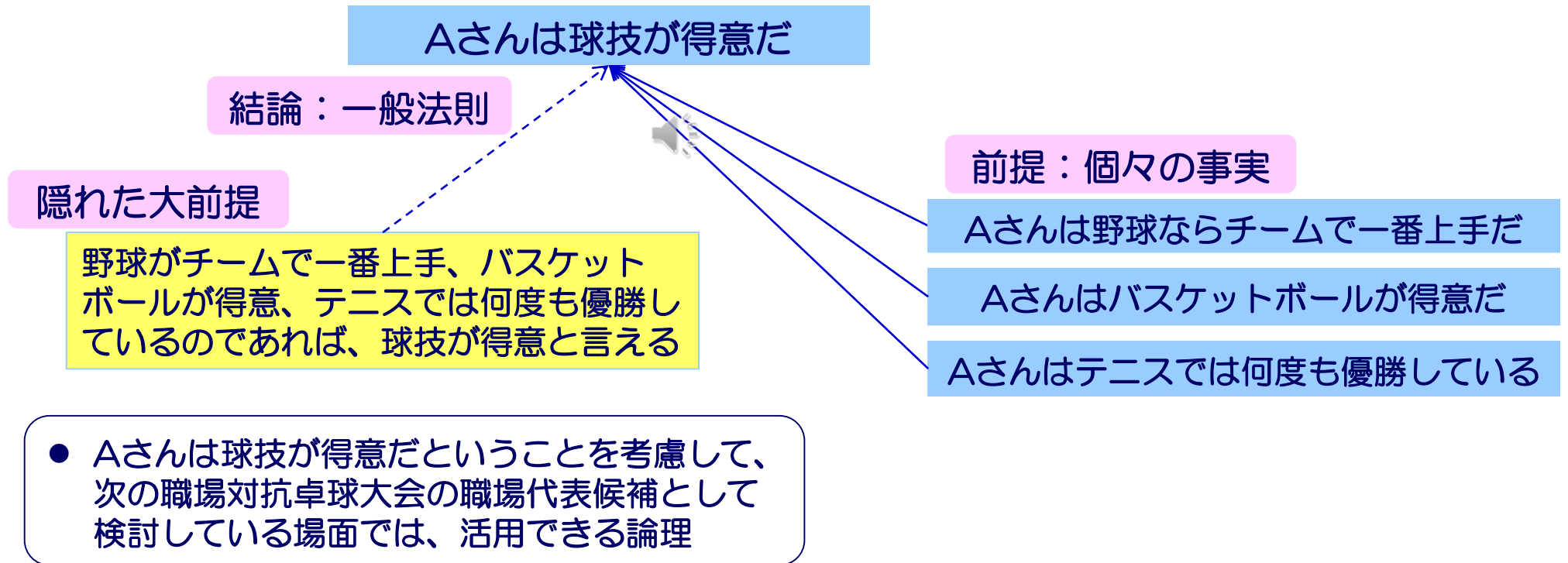
例外の存在により、一般法則として成り立たない帰納論理の例



帰納法推論：隠れた前提の扱い

帰納法推論の結論の導出に欠かせない「隠れた前提の存在」を問題とする必要がない状況においては、隠れた前提の存在を認識した上で、帰納法推論により導いた結論をそのまま使用しても構わない

隠れた前提の存在がなければ、一般法則として成り立たない帰納論理の例

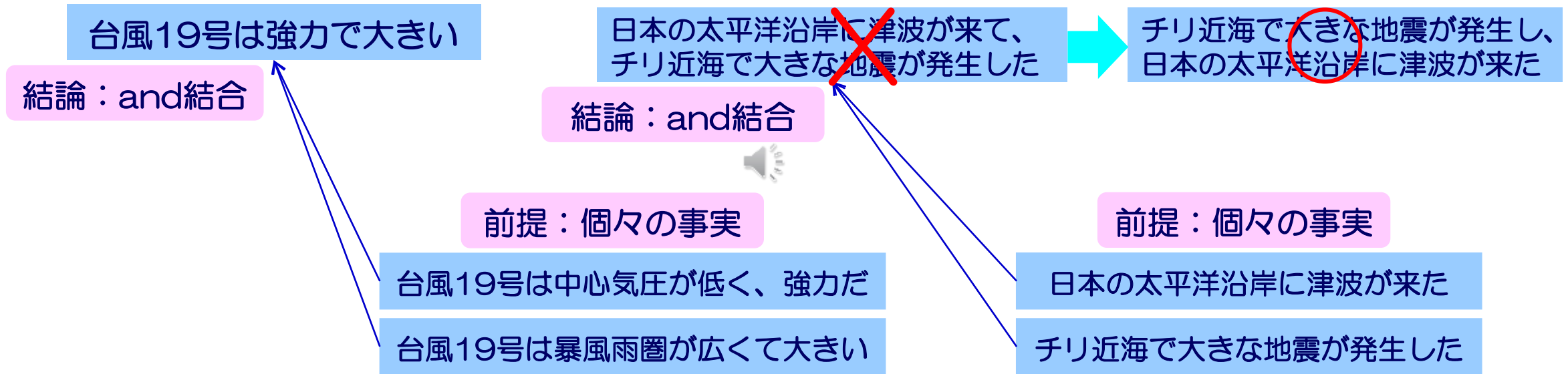


And結合という論理

複数の、真である前提命題を単にand結合した結論命題は常に成り立つ。ただし、前提命題間に順序や因果等の特別な関係が存在する場合には、それらの関係を維持したand結合による結論命題に限られる。

And結合は常に成り立つ

ただし、順序や因果関係がある場合には注意を要する

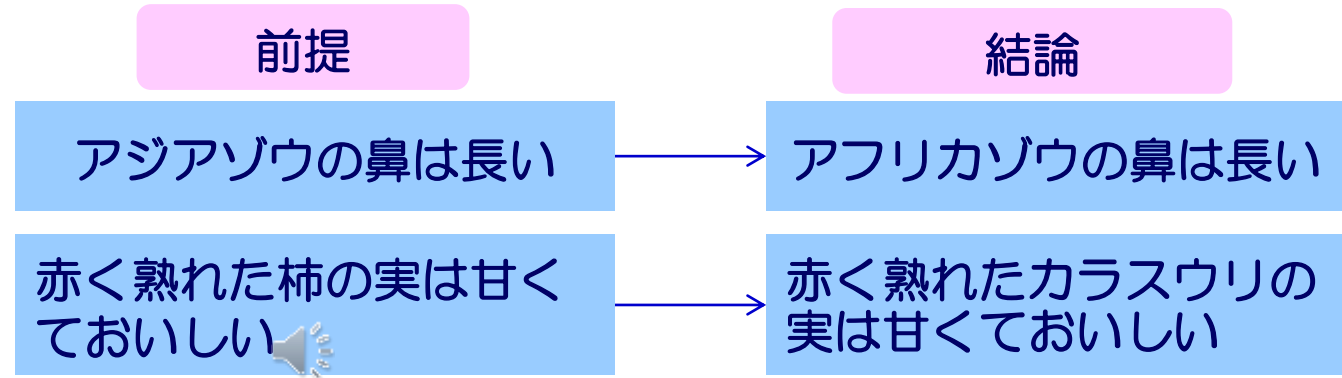


- 前提命題間に矛盾が生じない限り、And結合の際に使用可能な接続詞には制限がない
- 例えば、「部屋は汚い」、「彼女はきれい」→「部屋は汚いにもかかわらず彼女はきれいだ」、「彼女はきれいだけれど部屋は汚い」、「彼女はきれいなのに部屋が汚い」などが成り立つ

その他の推論：類比推論、アブダクション

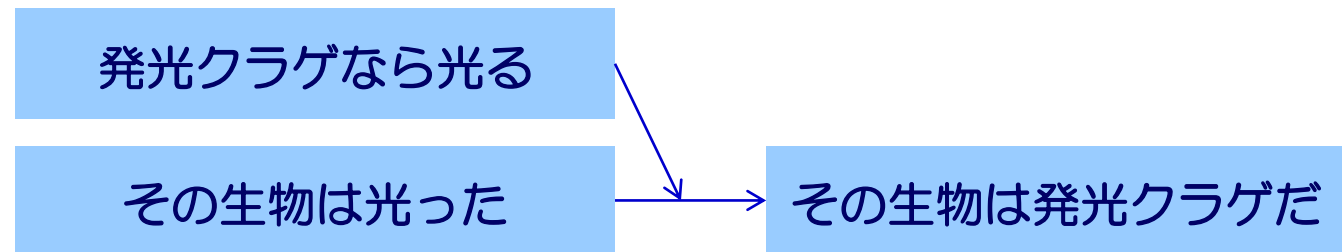
広義の帰納法推論には類比推論やアブダクションがあり、これらは成立する場合もあるが、多くは危うい推論となり、時に発見的な結論を導くことがある

類比推論 (Analogy)



- 類比推論は結論が必ずしも真とはならない、最も単純な帰納法推論とも言えるが、時に発見的結論を導くことがある

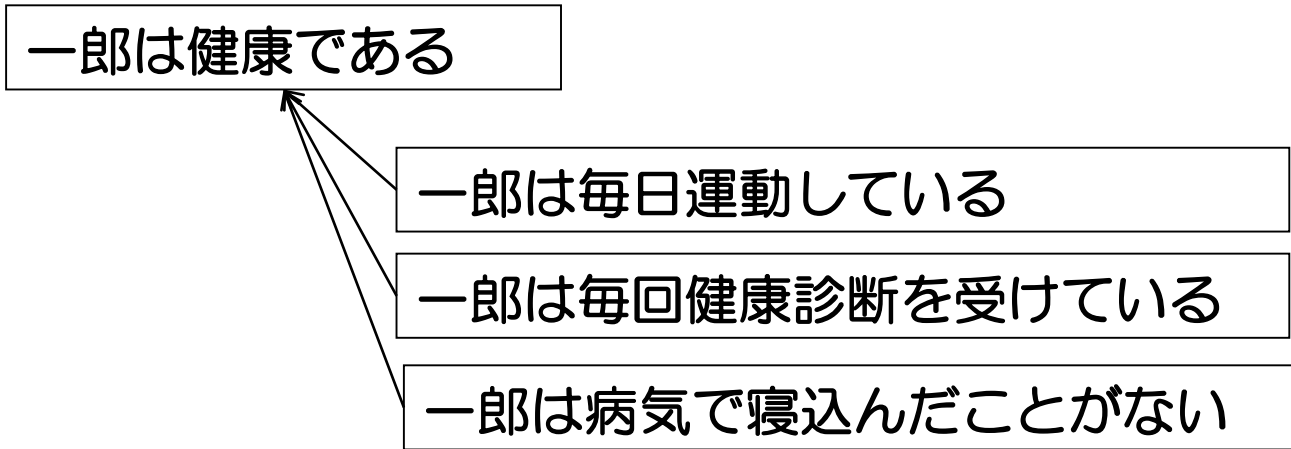
アブダクション (Abduction)



- アブダクションは「後件肯定の誤り」の例であるが、大前提命題において、逆が真となる場合には成立し、時に発見的・創造的結論を導く可能性を秘める

小演習： 次の帰納法推論が妥当と言えるにはどのような条件が必要か。

1



2

